

那須の歴史再発見!

那須町の地域文化遺産

vol.14



喰初寺

今回は湯本地区にある喰初寺を紹介しします。

喰初寺は、日蓮宗を開いた日蓮上人(1222~1282)の遺跡として知られ、昭和初期までは喰初庵、喰初仏と呼ばれていました。昭和7年(1932)に日蓮上人六五〇回忌として本堂と庫裡が完成し、喰初寺と称し現在に至ります。

同寺には「経題石」や「喰初仏」とも呼ばれる「題目碑」があり、同寺の本尊であり、町の指定文化財となっています。「題目碑」は、高さ1.26メートルの大きさで「南無妙法蓮華經」の7文字が刻まれています。日蓮上人が病氣療養のため那須温泉を訪れ湯治した際につくられたと言われていますが、江戸幕府の老中などを歴任した松平定信(1759~1829)が編纂した『集古十種』によると、元享2年(1322)と記されており、日蓮上人の没後につくられたものだと推測されます。境内には、東京神田玉藻講中により建立された九尾稻荷神社や日蓮上人の伝説がある珠数割石、昭和5年の山津波(土砂崩れ)で犠牲となった方を慰霊するため建立された地藏尊などがあります。

喰初寺の題目碑には「喰初」に関わるような様々な伝説が遺されています。医療措置をおこなってもご飯もたべない、言葉も発しないある10歳の子供へ、題目碑に生えた苔を浸した水を飲ませたところ言葉が発し、ご飯を食べたという言い伝えが遺されています。

また、文政年間(1818~1830)に黒羽藩主大関増業の娘が、同じくご飯を食べず、言葉も発しない状況になったところ、増業公夫妻の夢枕に題目碑に祈願するようお告げがあり、祈願を続けたところ7日目に娘がご飯を食べ言葉が発したという言い伝えが遺されています。増業公は後にお堂を建立したと伝わり、そのため本堂の額には大関氏の家紋「大関沢瀉」が刻まれています。



扁額 (大関増業筆と伝わり家紋がついている)

▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007

那須歴史探訪館

■申込み・問合せ
那須歴史探訪館 ☎74-7007

特別展「那須御用邸100周年記念 那須と皇室のあゆみ」

今年はその須御用邸の設置から100周年を迎えます。そこで、明治天皇の巡幸から那須御用邸の設置、皇室ゆかりの品々、朝鮮王朝に由来を持つ李王家と那須についても紹介し、町と皇室のあゆみを振り返ります。

▼会期 6月21日(日)まで
▼入館料 大人300円 ※特別展料金(中学生以下無料)

▼展示解説日(予約不要)
▼日 6月21日(日)
午後2時~3時

トピック展「小泉斐の作品たち」

黒羽藩の御用絵師で、アユの絵で知られる小泉斐(1770~1854)の作品を紹介します。

▼会期 6月27日(土)~9月13日(日)

▼入館料 大人200円(中学生以下無料)

夏休み子ども向け講座

○那須町ではどんな戦争があったの? 那須町でどんな戦争、戦争体験をした方がいたかを、講座と戦争中の資料を実際に触れて学びます。

▼日時 7月15日(水)
午後6時30分~9時

▼定員 15名
(小学4年生~高校生)

▼場所 文化センター
▼参加費 無料(要予約先着順)

○まちなかで見る江戸時代のひらがなを読んでみよう
まちなかで見かける古文書(変体仮名)をきっかけに江戸時代のひらがなを読んでみます。

▼日時 8月9日(日)
午後2時~3時

▼定員 20人 ※親子での参加可
(小学4年生~高校生)

▼場所 文化センター
▼参加費 無料(要予約先着順)

無料入館日(県民の日協賛事業)

▼期日 6月14日(日)

